

# JHFレポート

## 189号 JHF

最新情報・バックナンバーは  
ウェブサイトをご覧ください。  
<http://jhf.hangpara.or.jp>

Japan Hang&Paragliding Federation

社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟 発行

## 活気を取り戻す努力を

社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟 会長 内田 孝也

長期間発行を見合わせざるを得なかったJHFレポートを、この度、皆様のお手元にお送りできることを、心から嬉しく思います。JHF事務局に寄せられる『会員への情報を直接届けられないような運営』へのご批判には、職員一同たいへん心を痛めておりました。

現理事・監事は2007年6月の選挙により就任しておりますが、財政危機を乗り越えるための緊急措置を引き継ぎ、連盟の健全な運営に注力してまいりました。

2005年役員選挙の争点となった、いわゆる「財政危機」と呼ばれるJHFの問題は、急激に減少するフライヤー会員登録によって会費収入が縮小するなかで、それを予測しきれずに当初予算通りに事業を推進したことから起こりました。発生した赤字額を短期間に回復させるために、2005年度以降は連盟が極度に支出を絞ったので、出費がかさんでいた時期よりも会計収支が悪化しているかのような危機感を多くの方が感じたと思います。

皆様にはご不便とご心配をお掛けしてまいりましたが、2008年度からは、その年の収入をその年の事業に活用する、本来の連盟の姿に戻ることができ

そうです。

この間、連盟の諸事業を支え、実務を担当してくださった常設委員会の委員ならびに広報出版部の皆様には、たいへんなご負担をおかけしました。この場を借りて改めて感謝申し上げます。

さて、危機は過ぎたと言っても、フライヤー会員登録数の推移は、いまだ右肩下がりとなっております。これから先も、JHFは全体予算の減少を前提に活動を考えていかなければなりません。しかしスポーツ統括団体として、連盟には普及と振興という使命があり、縮小均衡に甘んじて良いわけではありません。

これまで30年以上にわたるわが国のハンググライディング・パラグライディング愛好者の歴史に鑑みて、フライヤー登録数の減少とは、二つの側面を持っていると考えています。

ひとつは、一度はスカイスポーツの仲間として連盟に所属したのに、継続する意思を失ってしまったフライヤーがいること。もうひとつは、新しく空の魅力を感じてハング・パラの愛好仲間になる、そんな人が少ないこと。

ハンググライダーやパラグライダーで「空を飛びたい」という気持ちを芽

生えさせ、もっと多くの人を惹き付けられるよう、また、たとえ自分は飛ばなくなっても、この素晴らしいスポーツの将来のために組織を支えていこうと考えてもらえるように、わたしたちが30年の歴史の中に見失っているものを再生しなければいけません。もしかすると、人口減少の二つの側面を一挙に解消する自己改革の道があるかもしれません。

JHFは、その前身の組織が立ち上げられたときから、空を楽しむ自由を確保するために、自らを律する規則を作って守ってきました。定めた制度の中には、安全を確保しスムーズに技能を習得していくシステムや、より高度な技術を競い合い高めていく競技の世界の構築など、先人の知恵が詰まっています。時代の流れとともに古くなってきたものはもう一度初心に戻って作り直し、次の世代が新鮮な魅力と「空を楽しむ自由を確保する」大切さを実感できるようにしたいと思います。

2008年度もその先も、JHFは、ハンググライディング・パラグライディングが再び活気を取り戻すために、地道な努力を続けます。ぜひあなたの力も貸してください。

### 2007年度 - 2008年度のJHF理事・監事

2007年度JHF通常総会での役員選挙で、正会員により理事8名、監事2名が選任されました。2009年6月のJHF通常総会で新役員が決まるまで、この顔ぶれがJHFの舵取りをしていきます。(役員選挙の公示等はウェブサイト)

□会長 内田 孝也

予算編成、国際技能記章、CIVL海外、補助動力委員会、制度委員会担当

□副会長 菊池 守男

渉外、国際技能記章、補助動力委員会、教員・スクール事業委員会、安全性委員会担当

□常任理事 下村 孝一

予算編成、渉外担当

□常任理事 城 涼一

渉外、安全性委員会、制度委員会担当

□常任理事 松田 保子

広報出版担当

□理事 荒井 健雄

予算編成、パラグライディング競技委員会、教員・スクール事業委員会担当

□理事 大澤 豊

レジャー航空無線、CIVL海外、パラグライディング競技委員会、ハンググライディング競技委員会、教員・スクール事業委員会担当

□理事 狩野 智子 (旧姓：萩原)

広報出版、安全性委員会担当

□監事 市川 孝 対馬 和也



内田孝也



菊池守男



下村孝一



城 涼一



松田保子



荒井健雄



大澤 豊



狩野智子



市川 孝



対馬和也

## 2006年度後半から2007年度の報告

### 2006年度の事業と予算

フライヤー会員数の減少傾向に歯止めをかけることが2006年度の目標。

新規教員を増やすため、教員検定を受けやすくする、スクールとの連携を強化するなどしましたが、実績で判断する限り、これらの効果でフライヤー会員数の減少をくい止められたという確かな手応えは、残念ながら年度内に感じることはできませんでした。年度末有効フライヤー会員登録12,857名(会員数に対して技能証発行数の減少が大きく、これは新規のフライヤーが増えていないことが原因だと考えられます)。

2005年度は「健全な財政」を最重要な課題として超緊縮補正予算の下で活動。思い切った経費削減で支出を抑えた結果、2006年度は新しいことに着手できました。事務局の老朽化した会員データ管理システムや作業ネットワー

クの新たな構築、パラグライディング教本改訂の準備金積み立てなどです。しかし、厳しい経済状況は続いており、JHFレポートの会員個々への発送を断念。フライヤー会員登録更新の案内に同封したほか、正会員(都道府県連盟)や各地のスクールに協力いただき配布をお願いしました。

#### □フライヤーの傷害保険

パラ&ハングフライヤーのための保障制度として始まった「JHF共済」は2006年度末で加入・更新受け付けを終了。「フライヤーの傷害保険を」という声に応え、2006年7月、東海日動パートナーズジャパンと提携し、まずはパラフライヤーを対象としたグループ傷害保険「JHF総合保障」制度をスタート(初年度で443名加入)。

#### □会員数を反映した予算配分

競技に関する予算を、パラグライダー、ハンググライダー、補助動力付きパラグライダー、それぞれのおおよそ

のフライヤー会員数割合を反映させたものにしました。

### 2007年度の事業と予算

新理事会の舵取りの下、2007年度事業は、JHFの普遍的なテーマである普及振興を軸に、教育や安全性についての活動に力を入れ、教員検定員の研修検定会を実施。また、数年前に試行していたウェブ上での事故報告をスタート。キャノピーのエアーもれを計測するポロジメーターやAED(自動体外式除細動器)の貸し出しや、無保険飛行の対策として会費の口座振替制度も開始しました。年度末有効フライヤー会員登録11,914名。

予算面では、フライヤー会員数の減少、つまり収入減を踏まえ、細かな経費を見直して節約。また予算を投入すべき事業の優先度を考えたうえで、さらに各支出を厳しく抑えました。JHFレポートについては、その重要性から、

## 教員検定員研修検定会を実施しました。

2008年3月11日から13日までの3日間、静岡県のアサギリ高原パラグライダースクールで、ハンググライディング・パラグライディング教員検定員の研修検定会を実施しました。

JHFの教員技能証は、飛ぶことが上手いだけでは取れません。助教員として教習経験を積み、学科と実技のインストラクションがしっかりでき、自由飛行の環境を守るために大切なことを理解し、教員検定員がその実力を認めた人だけが教員になれます。当然、教員検定員は同じ基準の下で検定をしなければなりません。文書の説明だけで同じものさしを持つのは不可能です。また、一人の教員検定員がいくつもの県を受け持つのではなく、都道府県連盟毎に教員検定員がいることが理想的です。そこでJHF理事会は、教員・スクール事業委員会の提案を受けて、教員検定員研修検定会の実施を決定しました(現役教員検定員が運営を担当、実施費用として予備費から50万円支出)。

さて、研修検定会当日。現役検定員と新たに検定員をめざす全国の教員が集まり、旋回理論や揚力

理論の教習内容、リスクマネジメント、事故の原因分析、最新EN規格などの講義を受け、また、グランドハンドリングやピッチング&ローリングなどの実技検定のしかたを互いに模擬採点しながら研修。特別講師として藤原誠之氏を招いてパラシュートのリパックについても学び、また、教員検定の実施についてさまざまな意見を出し合いました。

すべての研修検定を修了した32名の皆さん(右記 敬称略)が、今後3年間、教員の検定にあたります。教員をめざす方は、お近くの検定員に声をかけてください。また、この32名は各地の教員更新講習会でも活躍します。そして万一重大事故が発生した場合は事故調査も担当する予定です(こちらは活躍の場がないことを祈ります)。

#### 【ハング&パラグライディング】

古川正司(青森) 板垣直樹(茨城)  
坂本三津也(京都) 椋本清治(徳島)

#### 【ハンググライディング】

桂 敏之(茨城) 郷田 徹(東京)  
町田重幸(神奈川) 外村仁克(和歌山)

#### 【パラグライディング】

田代茂樹(北海道) 片山信雄(北海道)  
三浦征三(秋田) 八幡信雄(岩手)  
鈴木孝世(岩手) 金井 誠(山形)  
山谷武繁(宮城) 伊尾木浩二(群馬)  
樋口和夫(栃木) 下山 進(埼玉)  
工藤修二(埼玉) 島野広幸(神奈川)  
中村ヤスヲ(神奈川) 岩橋 亘(山梨)  
目黒 敏(静岡) 寄本博行(岐阜)  
村瀬篤範(愛知) 片岡義夫(鳥取)  
山下慎吾(岡山) 殿塚裕紀(岡山)  
地森 渉(広島) 川染忠明(香川)  
小林秀彰(福岡) 角町正彦(福岡)



富士山に見守られてグラハン教習研修。



岡芳樹講師も加わり解散前の記念撮影。



一度ではありますが、会員個々への発送をすることに決定。いま、こうして皆さんに読んでいただいています。

#### □会費の口座振替で無保険防止

フライヤー登録の更新忘れによって第三者賠償責任保険も切れたままフライトしている人がいる……この大問題を解決するひとつの方法として、銀行口座振替で会費支払いができるようにしました（初年度利用470名）。

第三者に迷惑をかけたときのために保険に入るのは、フライヤーとして当然のこと。無保険で損害を賠償するこ

とになったら、困るのはフライヤー自身や家族です。保険切れにはくれぐれもご注意ください。

#### □ボランティアの募集

空を楽しむ一員として仲間を増やしたい、仲間の役に立ちたい、そんな方たちに連盟活動を手伝っていただき、活性化を図ろうと、ボランティア登録を始めました。事務局作業やイベントの人手がほしいとき、専門的なアドバイスやサポートが欲しいときなどに動いてくださる方を募っています（12ページをご覧ください）。

#### □アキュラシー元年

パラグライダーで着陸精度を競うアキュラシーは、一般の人にもわかりやすく、スカイスポーツへの理解を深めてもらうのうってつけの競技。

JHFでは2006年度9月にFAI (CIVL)から講師を迎えてFAIジャッジセミナーを開催。2007年度にアキュラシーリーグを開始、また初めての日本選手権を開催しました。ジャッジの規程も施行。これから多くのフライヤーに参加し楽しんでもらえるよう、さまざまな面での整備を進めていく予定。

## 2008年度の予定

JHF理事会は、6月の通常総会に向けて2008年度の事業計画と予算案を策定し、このレポートが皆さんのお手元に届く頃には、正会員への発送を終えているはず。案が総会で承認されると、本格的に今年度事業を推進していきますが、年度は変わってもJHFの最大の課題は、ハング・パラグライディングの普及振興。そのための安全性向上。JHF理事会は、この大きな山を着実に登り続けるには下記のようなことが必要と考え、事業計画と予算案を作りました。

#### □教員更新講習会

数年来の宿題になっていた教員・助教員の更新講習会を各地で実施して、インストラクターに安全な教習に必要な新しい知識や技術を伝えます。各地の教員検定員に中心となって動いていただき、今年度は地区（北関東とか九州とか）毎の開催をめざす。インストラクターの皆さん、JHFや都道府県連盟からのお知らせにご注意を。

#### □競技

JHFはスポーツ団体であり、競技は事業の大きな柱のひとつ。例年どおり日本選手権を開催し、世界選手権に出場する代表選手をサポートします。また各競技リーグの運営を行い、国体のデモンストレーション行事に協力し、パラグライディングアジア選手権に向けての積み立てを開始。特筆すべきはパラグライディングJ2リーグのスタート。中級者が気楽に参加できる競技リーグを考えています。また、アキュラシー競技を大きく育てるために、国内開催のワールドカップへの助成等を予定。

競技会に参加するのは個人の楽しみ

なのに、何故大きな予算を投入するのかという意見もありますが、競技は日本のハング・パラグライディング界全体のレベルアップにつながり、社会へのPRもできます。一部の競技者だけでなく、フライヤー全員が間接的に利益を受けていると言えるでしょう。

#### □JHFレポート

フライヤー会員一人ひとりにJHFレポートを送付。インターネット時代とはいえ、会員に直接送って読んでもらうJHFレポートは、連盟の動きを知ってもらう大切なツール。送料が大きな負担になるので、年に一度の送付予定。

#### 【理事会】

現理事・監事は任期の後半に入りました。2009年6月の総会で新役員が選任されるまで、限られた予算で効率よく動き、正会員やフライヤー会員と連携して、これまでの動きを無駄にすることなく連盟事業を遂行していこうと、理事一同考えています。

4月23日の理事会では、今年度事業計画と予算案についての検討を主に行い、総会の議題について協議したほか、出産を控えた理事の今後についても話し合いました。

理事会での決定事項は、JHFウェブサイトの特ピックスに掲載しています。できるだけ早く読んでいただけるよう事務局員が頑張っています。ぜひご覧ください。

#### 【委員会】

2007年度末に公募を行い常設委員会のメンバー（右記 敬称略）を理事会で選任しました。任期は2010年3月31日まで。委員はそれぞれ「自分たちの

環境をよくしたい」という強い意欲を持っていますが、フライヤーの皆さんの協力が不可欠。ぜひ委員を応援してください。なお、定員に満たなかった委員会（パラ競技、教員・スクール、安全性、制度各委員会）は委員を募集中。やってみてもいいなと思ったら、迷わずJHF事務局にご連絡ください。

また、公益法人制度改革を前に、公益社団法人化についての特別委員会を2月27日付で設置、4月23日に初めての委員会を開きました。委員会名は、公益法人制度改革三法特別委員会（略称：三法委員会）。委員任期は常設委員会と同じですが、業務が完了していない場合は2年間延長します。

#### ●ハンググライディング競技委員会

板垣直樹（委員長） 大田祐輔  
砂間隆司 高橋 明 松村貴博

#### ●パラグライディング競技委員会

岡 芳樹 児島 彰 西ヶ谷一志

#### ●教員・スクール事業委員会

伊尾木浩二 岩橋 亘 桂 敏之  
小林秀彰 山谷武繁

#### ●安全性委員会

伊尾木浩二、桂 敏之、目黒 敏

#### ●制度委員会

小林秀彰

#### ●補助動力委員会

金井博美 須藤彰 星野納 椋本清治  
山崎勇光 吉川隆夫（諸問題に対応のため今期に限り6名に増員）

#### ●公益法人制度改革三法特別委員会

泉 秀樹（委員長） 井上 潔  
中瀬 誠 宮川雅博

\*事務局内広報出版部は廃部とし、その業務を事務局の広報出版担当者が行うことになりました。

# 2006年度後半から2007年度の報告：競技

## 世界選手権

四つの世界選手権に選手を送り出しました。

### □第1回FAIパラグライディング エアロパティック世界選手権

2006年8月16日～27日  
スイス ヴィルヌーヴ

初めてのエアロパティック（アクロ）世界選手権に日本チームも参加、湖上で華麗な技を次々繰り出した、福岡聖子＋加藤豪シンクロチームは残念ながら入賞ならず。福岡選手はソロ競技で女子2位と健闘。シンクロ世界一はロドリゲス兄弟、ソロ世界チャンピオンはラウル・ロドリゲス。他を圧倒するパフォーマンスだった。

[シンクロ]

- |     |                           |        |
|-----|---------------------------|--------|
| 1位  | R.Rodriguez&F.Rodriguez   | スペイン   |
| 2位  | C.Maurer&P.Neuenschwander | スイス    |
| 3位  | B.Hornboeck&A.Meschuh     | オーストリア |
| 14位 | 福岡 聖子&加藤 豪                |        |

[ソロ総合]

- |    |                 |      |
|----|-----------------|------|
| 1位 | Raul Rodriguez  | スペイン |
| 2位 | Antoine Montant | フランス |
| 3位 | Felix Rodriguez | スペイン |

[ソロ女子] \*参考順位

- |    |                   |      |
|----|-------------------|------|
| 1位 | Judith Zweifel    | スイス  |
| 2位 | 福岡 聖子             |      |
| 3位 | Maeva Giacommetti | フランス |

### □第4回FAIパラグライディング アキュラシー世界選手権

2007年2月9日～18日  
リトアニア トライカイ

競技エリアはガチガチに凍った湖。トーイングで飛び立ち、雪を冠った水の上のターゲットをめがけてランディング、という単純そうだが……。上位選手は何本飛んでも安定して中心のパッドを踏み、初めてアキュラシー世界選手権に出場した日本チームは、どんな状況でもうまく修正して着陸精度を高める難しさを痛感。次回への大きな目標ができた。

[個人]

- |     |                  |           |
|-----|------------------|-----------|
| 1位  | Matjas Feraric   | スロヴェニア    |
| 2位  | Andy Webster     | イギリス      |
| 3位  | Martin Jovanoski | マケドニア     |
| 14位 | 岡 芳樹             | 29位 菅野 剛広 |
| 36位 | 文字 英彰            | 37位 菊田 高司 |
| 49位 | 川村 真             |           |

[国別]

- |    |        |    |     |
|----|--------|----|-----|
| 1位 | スロヴェニア | 2位 | チェコ |
| 3位 | イギリス   | 7位 | 日本  |

### □第10回FAIパラグライディング 世界選手権

2007年2月24日～3月9日  
オーストラリア マニラ

開催地のマニラは10年以上も前から、クロカンのメッカと言われてきた。距離の世界記録も生まれた場所だ。当然誰もが、非常に恵まれたコンディションでビッグタスクが連日組まれるものと思っていた。

しかし、現実には正反対。雨が多く、雲底も低く、サーマルも弱い最悪のコンディション。かなりタイミングと運が影響した大会であったと言える。それでも、表彰台に立った選手はフロックではなく、明らかに、最悪のコンディションの中で実力を発揮した選手だった。

世界チャンピオンになったイギリスのブルース・ゴールドスミスのみが5タスク全てにゴールメイクしていることから、いかにゴールすることが大切か、いかに失敗しないことが大切か（特に成立タスクが少ない場合）が如実に示された。

今回、日本選手は実力を発揮できずに終わってしまったが、レースにどのようにして勝つのかが分かったと思う。今後の良い教訓にして、他のJリーガーのレベルアップにつなげてもらえれば幸いです。

チームリーダー 岡 芳樹

[総合]

- |     |                 |           |
|-----|-----------------|-----------|
| 1位  | Bruce Goldsmith | イギリス      |
| 2位  | Jean-Marc Caron | フランス      |
| 3位  | Thomas Mccune   | アメリカ      |
| 79位 | 平木 啓子           | 86位 若山 朋晴 |
| 88位 | 上山 太郎           |           |

[女子]

- |    |               |          |
|----|---------------|----------|
| 1位 | Petra Slivova | チェコ      |
| 2位 | Viv Williams  | オーストラリア  |
| 3位 | Harmony Gaw   | ニュージーランド |
| 8位 | 平木 啓子         |          |

[国別]

- |    |     |     |      |
|----|-----|-----|------|
| 1位 | チェコ | 2位  | フランス |
| 3位 | スイス | 20位 | 日本   |



トップ3。左からトーマス、ブルース、ジャンマーク。



女子トップ3。左からハーモニ、ペトラ、ヴィヴ。

### □第16回FAIハンググライディング 世界選手権（クラス1）

2007年8月5日～16日  
アメリカ ビッグスプリング

今回の世界選手権は、テキサスの乾燥した平地で開催された。軽量飛行機によるエアロトーイングでビッグスプリングの飛行場を出発し、ゴールに向かってひたすら飛ぶ。眼下に見えるのは、スプリンクラー灌漑による円形の綿畑と、石油の掘削ポンプばかり。風下に流すタスクが大半を占めたこともあって、7本の成立タスクの合計距離は1266kmに上った。

日本代表は初日に国別1位の快挙を達成した。最終順位は7位だったが、個人成績でタスクごとのトップ10入りや900点台獲得が珍しくなくなり、実力の向上ぶりが実感できたのが収穫だった。他国のチームからも対等のライバルとして認められるようになったことが、国内競技の路線の正しさを何よりも雄弁に物語っていると思う。

優勝したアッティラ・ベルトックは、世界選手権に出場し続けて苦節14年、ついに栄冠を手にした。国別優勝のイギリスは、特にずば抜けた選手はいないにもかかわらず、チームフライトで確実にゴールを重ね、高い平均点を維持し続けた。一つの方向性を見せられた思いがした。

チームリーダー 北野正浩

[個人]

- |     |                  |           |
|-----|------------------|-----------|
| 1位  | Attila Bertok    | ハンガリー     |
| 2位  | Robert Reisinger | オーストリア    |
| 3位  | Gerolf Heinrichs | オーストリア    |
| 26位 | 板垣 直樹            | 27位 鈴木 博司 |
| 32位 | 大門 浩二            | 54位 加藤 実  |
| 82位 | 鈴木 由路            | 84位 外村 仁克 |

[国別]

- |    |        |    |      |
|----|--------|----|------|
| 1位 | イギリス   | 2位 | フランス |
| 3位 | オーストリア | 7位 | 日本   |



左からゲロルフ、アッティラ、ロベルト。

## 日本選手権

四つの日本選手権を開催し日本一を決定。

### □2006パラグライディング 日本選手権 in 富士山

2006年11月3日～7日 静岡県朝霧高原  
前半に40.8km、51.2km、61.6kmのレースタスクが成立。それぞれ34人、14人、14人がゴールした。初日は雲底が下がり、雲と尾根の間を走り抜けるレースで、河村葉子選手がトップゴール。2日目は強風に阻まれ途中で着陸する選手も多数。3日目は最

## 2008年以降の 世界&日本選手権など

高のコンディションで、先頭集団は無駄のない動きで日本一の座を競った。残念ながら4日目・5日目はキャンセル。3本ともきっちりゴールした加賀山選手が日本選手権を手にした。

[総合]

1位	加賀山 務	静岡県	2917点
2位	若山 朋晴	静岡県	2822点
3位	岩谷 勝弘	兵庫県	2637点

[女子]

1位	河村 葉子	愛知県	1725点
2位	庵 祥子	神奈川県	1685点
3位	宗像 良香	山口県	1106点

### □2007ハンググライディング 日本選手権 IN 茨城

2007年3月17日～21日

茨城県石岡市板敷山

毎年スケールの大きな競技が行われている3月の板敷で6年ぶりの日本選手権を開催。気象条件に恵まれ、タスクコミッティの的確なタスク設定もあり、内容の濃い熱いレースが展開された。1日目71名、3日目66名、5日目67名の選手がフライトした合計距離が8282kmと最高の記録となった。ベテランはもちろん若手の頑張り、女子選手の活躍が印象に残る選手権であった。

[総合]

1位	加藤 実	愛知県
2位	鈴木 博司	岐阜県
3位	大門 浩二	茨城県

[女子]

1位	加味根あかり	鳥取県
2位	牛尾 加奈子	和歌山県
3位	鈴木 皓子	京都府

### □2007パラグライディング アキュラシー日本選手権 in 宮城

2007年5月18日～20日

宮城県仙台市泉ヶ岳スカイランド

初めてのアキュラシー日本選手権。飛ぶ度にターゲット中央の小さなパッドを踏むことがこれほど難しいとは想定外という選手が多数。ターゲット中心からの距離が大きくなるほど、また着陸姿勢等によってペナルティ点が加算されていく方式。一般の人にもわかりやすい競技なので、今後の盛り上がり期待される。

1位	仲里 裕和	沖縄県	2点
2位	岡 芳樹	東京都	29点
3位	川村 真	宮城県	174点

### □2007パラグライディング 日本選手権 in OSA

2007年10月5日～8日

岡山県新見市大佐山

初日はキャンセルになったが、6日は快晴で、31kmのレース。途中、吹き下ろし

につかまった選手を眼下に、余裕の高度で攻めた植田、加賀山、和田選手がリード。ギリギリ高度で走った上山選手がトップゴール。7日は20.8kmのスピードラン。最終パイロンの先で多くが降りてしまいゴールは7名。終始単独で動いた川上賢一選手がトップに。最終日はキャンセル。2本とも上位に食い込んだ岩谷選手と総合でも5位の平木選手が日本選手権者となった。

[総合]

1位	岩谷 勝弘	兵庫県	1877点
2位	小倉 祐介	静岡県	1831点
3位	中川 良昭	茨城県	1785点

[女子]

1位	平木 啓子	北海道	1754点
2位	小倉 由美子	静岡県	978点
3位	角田 淳子	三重県	867点

## 2006年JHFランキング

### □ハンググライディングシリーズ

総合1位	外村 仁克	222.90ポイント
女子1位	谷古宇 瑞子	58.81ポイント

### □パラグライディングワールドポイント

総合1位	若山 朋晴	158.5ポイント
女子1位	平木 啓子	50.9ポイント

### □パラグライディングナショナルポイント

総合1位	若山 朋晴	3584.4ポイント
女子1位	河村 葉子	3178.1ポイント

### □パラナショナルポイントシリアル

総合1位	和田 浩二	3352.7ポイント
女子1位	中村 恵美	2632.9ポイント

### □パラグライディングクロスカントリーリーグ

総合1位	関口 典彦	計223.9km
年間最長	金森 宏之	85.2km (5/8足尾)

## 2007年JHFランキング

### □ハンググライディングシリーズ

総合1位	鈴木 博司	224.46ポイント
女子1位	加味根あかり	95.5ポイント

### □パラグライディングワールドポイント

総合1位	岩谷 勝弘	174.9ポイント
女子1位	平木 啓子	120.4ポイント

### □パラグライディングナショナルポイント

総合1位	若山 朋晴	3734.4ポイント
女子1位	河村 葉子	2270.2ポイント

### □パラナショナルポイントシリアル

総合1位	和田 浩二	3069.7ポイント
女子1位	平木 啓子	2245.1ポイント

### □アキュラシージャパンリーグ

総合1位	岡 芳樹	126.2ポイント
年間最長	伊藤 和寛	137.9km (3/10足尾)

\*大会予定や結果、登録等はJHFウェブサイト、各競技委員会のページで。

### □FAIハンググライディング

女子・クラス2・クラス5世界選手権

2008年7月19日～8月2日

イタリア モンテクッコ

\*女子とクラス5の日本代表メンバーを決定しました。チームリーダーは北野正浩さん。

### □第2回FAIパラグライディング エアロパティック世界選手権

2008年8月22日～31日 ノルウェー

### □第11回FAIパラグライディング 世界選手権

2009年1月23日～2月7日 メキシコ

### □ワールドエアゲームズ2009

6月7日～13日 イタリア トリノ

HG&PGエアロパティック、HGスピード、PGアキュラシー

### □第5回FAIパラグライディング アキュラシー世界選手権

2009年6月20日～27日 クロアチア

### □第17回FAIハンググライディング 世界選手権 (クラス1)

2009年6月20日～7月4日 フランス

### □第2回FAIパラグライディング アジア選手権

2010年4月28日～5月5日 徳島県美馬市

### □第2回パラグライディング アキュラシー日本選手権 in 南陽

2008年9月21日～23日

山形県南陽スカイパーク

### □第20回パラグライディング 日本選手権 in AKAIWA

2008年10月30日～11月3日

栃木県赤岩エリア

### □2008ハンググライディング 日本選手権 IN 茨城

2008年4月9日～13日

茨城県石岡市足尾山エリア

クロスカントリーのメッカ、春の足尾らしい競技が期待されたが、不安定な気象条件のため12日の86.5kmタスクのみ成立。残念ながら日本選手権としては不成立に終わった。韓国の3選手に競技を十分に楽しんでもらえなかったのが残念。

[総合] 1位 大門 浩二 茨城県

2位 和田 典久 京都府

3位 鈴木 博司 岐阜県

[女子] 1位 野尻 知里 東京都

2位 磯本 容子 和歌山県

3位 鈴木 皓子 京都府



# 仲間を増やすためのアンケート

ハンググライディング・パラグライディングの人口は「右肩下がり」が続いています。スカイスポーツの醍醐味をひとりでも多くの人に知ってもらい仲間を増やすことは、JHFの大きな使命です。そこで、現役フライヤーの皆さんの現状を知り、さまざまなご意見をいただくために、アンケートを行うことにしました。質問がたくさんあって少し面倒ですが、仲間を増やすためにぜひご協力ください。回答の方法は、アンケート用紙に記入して郵送／ファクシミリ送信、ウェブサイト入力など。詳しくは下記をご覧ください。

回答してくださった方のなかから抽選で20名様に、他所では手に入らないエンブレム（ワッペン）やファイルをプレゼントします。

皆さんのご回答は、JHFの普及事業に反映させていきます。なお集計結果をJHFウェブサイト等で発表しますが、お名前・ご住所を発表することはありません。プレゼントを希望しない方は、無記名でも結構です。

## 回答の方法

アンケートへのご回答は、下記のとおり送付／送信／入力してください。

複数の翼、たとえばパラグライダーとハンググライダーで飛行を楽しんでいる方は、お手数ですがアンケート用紙をコピーするなどして翼別にお答えくださるようお願いいたします。

### ■郵便／メール便

このJHFレポートに挟み込んだアンケート用紙に記入→JHF事務局に送る。（送料は各自ご負担ください。）

事務局住所：〒170-0002

東京都豊島区巣鴨3-39-4 東都ビル2階（社）日本ハング・パラグライディング連盟

### ■ファクシミリ

このJHFレポートに挟み込んだアンケート用紙に記入→JHF事務局に送信。

事務局FAX：03-5961-1389

FAX番号間違いにご注意ください。

### ■ウェブサイト

JHFウェブサイトのアンケートを入力（トピックスをご覧ください）。

JHFウェブサイト：

<http://jhf.hangpara.or.jp/>

## 回答締切

2008年6月16日（月）

## プレゼント

### ■07-08日本代表エンブレム（10名）

世界選手権に出場する日本チームのために作ったエンブレム。白地に赤と黒のロゴ&文字がくっきり。

### ■フライヤーズファイル（10名）

B6 バイブルサイズ6穴。市販のファイルを使って、フライト覚え書きなど何でもファイル。透明に白文字。

\*プレゼントの選択はJHFにお任せください。発送は6月25日の予定です。



## アンケート

### 【Q.1】飛行している翼

[該当の番号を記入。複数回答不可]

1. ハンググライダー
2. パラグライダー
3. 動力付きハンググライダー
4. 動力付きパラグライダー

### 【Q.2】年齢層 [該当の番号を記入]

- |        |                  |        |
|--------|------------------|--------|
| 1. 10代 | 2. 20代           | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代           | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. その他 [    ] 代] |        |

### 【Q.3】性別 [該当の番号を記入]

1. 男    2. 女

### 【Q.4】職業 [該当の番号を記入]

- |          |               |
|----------|---------------|
| 1. 学生    | 2. 派遣社員       |
| 3. 会社員   | 4. 公務員        |
| 5. 主婦（男） | 6. 主婦（女）      |
| 7. 自営業   | 8. サービス業      |
| 9. 自由業   | 10. パート・アルバイト |

11. 無職

12. その他 [具体的に記入]

### 【Q.5】お住まいの都道府県

[居住都道府県を記入]

### 【Q.6】フライトを始めて [    ] 年目

### 【Q.7】現在所有の機体は [    ] 機目

### 【Q.8】あなたのホームエリア

[エリア名を記入]

### 【Q.9】エリアに足を運ぶ頻度は？

エリアに行く回数 [平均    回/月]

飛行日数 [平均    日/月]

飛行時間 [平均    時間/月]

### 【Q.10】ハンググライディング（以下HGと略）・パラグライディング（以下PGと略）に興味を持ったきっかけは？

[該当の番号を記入。複数回答可]

1. 実際にフライトしているのを見て
2. レジャー体験フライトの宣伝を見て
3. テレビ番組で見て
4. テレビCMで見て
5. 一般雑誌を見て
6. インターネットで見て
7. 友人・知人の誘い
8. JHFや各県連盟発行資料を見て
9. 専門誌を見て
10. 広告看板を見て
11. その他 [具体的に記入]

### 【Q.11】初めて実際にフライトを見た場所はどこですか？

[エリア名を記入。不明なら地域名]

### 【Q.12】初めてフライトを体験した場所は？

[エリア名を記入]

### 【Q.13】あなたが感じるHG・PGの一番の魅力はなんですか？

[具体的に記入]

### 【Q.14】あなたが練習している／したスクールを何で知りましたか？

# フライヤーの皆さんにお願い

[該当の番号を記入。複数回答可]

1. 実際のフライトを見て
2. レジャー体験フライトで
3. テレビで見て
4. 一般雑誌を見て
5. インターネット検索
6. JHFや各県連盟発行資料等
7. 友人・知人の誘い
8. 専門誌
9. 広告看板
10. その他 [具体的に記入]

## [Q.15] スクールを選んだ理由は？

[該当の番号を記入。複数回答可]

1. 通いやすい場所にあるから
2. エリアが魅力的だから
3. スクール費用が手頃だから
4. 雰囲気が良かったから
5. スタッフの質が良かったから
6. ホームページの内容が良かったから
7. その他 [具体的に記入]

## [Q.16] 取得済み技能証は？

[該当の番号すべてを記入]

HG

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1. 練習生A級    | 2. 練習生B級 |
| 3. 練習生C級    | 4. パイロット |
| 5. クロスカントリー | 6. タンデム  |
| 7. 補助動力     | 8. 助教員   |
| 9. 教員       |          |

PG

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 10. 練習生A級    | 11. 練習生B級 |
| 12. ノービス     | 13. パイロット |
| 14. クロスカントリー | 15. タンデム  |
| 16. 補助動力NP   | 17. 補助動力  |
| 18. 助教員      | 19. 教員    |
| 20. MPG      |           |

## [Q.17] 最近の技能証取得年

[西暦 年]

[Q.18] HG/PGパイロット証をお持ちの方に→パイロット証取得にかかった年月 [ 年 ヶ月]

[Q.19] スクール受講時に感じたこと、インストラクターに望むことは？

[具体的に記入]

[Q.20] ご自分の機体をお持ちの方に→現在お使いの機体を選んだ理由は？

[該当の番号を記入。複数回答可]

1. 機能が充実していたから
2. デザインが気に入って
3. 技能レベルに合っていたから
4. 価格が予算に合っていたから
5. 品質が良かったから
6. カラーリングが気に入ったから
7. 信頼できるブランドだから
8. 友人に薦められて
9. インストラクターに薦められて
10. 販売店で薦められて
11. その他 [具体的に記入]

[Q.21] フライト時に装備している計器などを教えてください。

[該当の番号を記入。複数回答可]

1. 小電力無線機
2. 免許所有アマチュア無線機
3. バリオ
4. GPS
5. 風速計
6. 山沈回収セット
7. 携帯電話
8. カメラ
9. ビデオカメラ
10. その他 [具体的に記入]

[Q.22] 安全フライトのためにどのようなことを一番意識していますか？

[具体的に記入]

[Q.23] 競技に出場していますか？

[該当の番号を記入]

1. 出場している
2. 出場していない

[Q.24] 競技に出場している方に→種目は？

[該当の番号を記入。複数回答可]

1. クロスカントリー
2. アキュラシー
3. アクロ
4. その他 [具体的に記入]

[Q.25] 競技未経験の方に→今後、競技に出場したいと思いますか？

[該当の番号を記入]

1. 思わない
2. 競技出場したい

[Q.26] 競技未経験の方に→出場してみたい種目は？

[該当の番号を記入]

1. クロスカントリー
2. アキュラシー
3. アクロ
4. その他 [具体的に記入]

[Q.27] 思い出に残ったエリアは？

[エリア名を記入]

その理由は？

[具体的に記入]

[Q.28] HG・PGを始めて、よかった事はなんですか？ また、悪かった事はありますか？

[具体的に記入]

[Q.29] これからフライヤーになりたいと思っている人にひとこと。

[具体的に記入]

[Q.30] HG・PGの普及のためのアイデアをお書きください。

[具体的に記入]

[Q.31] 居住都道府県の連盟への加入

1. 県連に加入している
2. 加入していない

[Q.32] 都道府県連盟に加入していない方に→加入しない理由は何ですか？

[具体的に記入]

[Q.33] お住まいの都道府県の連盟活動を知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない

[Q.34] JHFへのご要望

[具体的に記入]

お名前・ご住所・電話番号などをご記入ください。プレゼントを希望しない方は記入なしでも結構です。

ご協力、ありがとうございます。今後とも安全にフライトをお楽しみください。

# 航空協会の仕事

## 財団法人日本航空協会 航空スポーツ室 小林忍室長に聞く

JHFは航空スポーツ団体のひとつとして、財団法人日本航空協会（JAA）のお世話になっているのだが、航空協会が日本選手権の公認や記録認定のほかにはどんな仕事をしているのか、私たちはほとんど知らない。そこで、2007年5月に角田昌男さんに代わって航空スポーツ室長に就任された小林忍さんにお聞きした。

□まず、航空協会の事業にはどんなものがあるのでしょうか。

航空協会の事業の大きな柱としては、ひとつは航空スポーツの普及振興育成、ひとつは航空に関する講演会や出版を担当して広い意味での航空の普及の下支えをする文化事業、そして日本全体を見据えて航空の歴史を掘り起こし次代に伝えていこうとする航空遺産継承事業があります。ほかにも9月20日の『空の日』を盛り上げるための活動や、多くの航空関係者が参加する新年賀詞交歓会の事務局など、さまざまなことをしています。

□ハンググライディングの草創期、つまりJHF発足以前から、フライヤーがお世話になってきた航空スポーツ室の役割とは何ですか。

たいへん偉そうなことを言えば、日

本の航空スポーツ振興のお世話というか、お手伝いをしています。ひとことで言うと、それが一番の仕事です。それから国内だけでなく、国際航空連盟（FAI）と航空スポーツ団体の橋渡し、NAC（National Airsports Control その国の航空スポーツを統括する）としての役割も担っています。たとえばJHFの会員さんが世界選手権に出場するときは、NACとして日本代表選手団を派遣しています。また、ハング・パラでは、JHF推薦のデレгатを国際ハンググライディング・パラグライディング委員会（CIVL）に派遣しています。

航空スポーツ全体の振興を図るため、スカイ・レジャー・ジャパン（SLJ）も担当しています。これは、空のレジャーに縁のない人たちにもその楽しさを知ってもらおうと、JHFをはじめ各航空スポーツ団体に参画いただいているイベントです。昨年は宮崎県都城市で第19回SLJを開催し、約3万人の観客を集めました。東国原県知事も大会名誉顧問として来場され、場を盛り上げていただきました。

また、青少年を対象に普及活動も行っています。各スポーツの専門的な振興活動については、諸団体を「お手伝い」することしかできませんが、こど

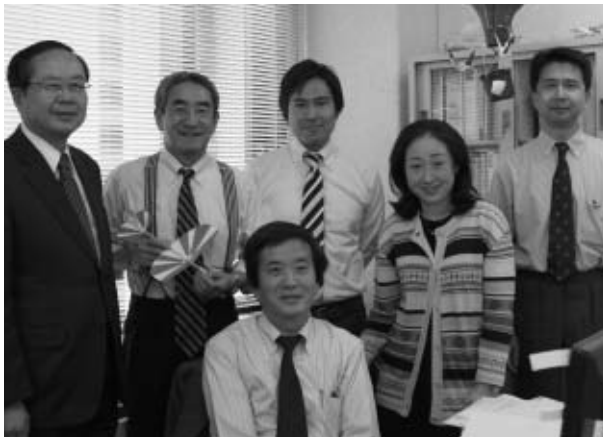
もたちに航空スポーツのおもしろさを感じてもらう「航空スポーツ教室」を我々が主体となって実施しています。

パラグライダーと気球とゴム動力の模型飛行機をこどもたちに体験してもらうのですが、反応は上々です。こどもだけでなく、お母さん・お父さん方も「こどもたちがあんなに喜ぶなんて、手伝う甲斐があります」と喜んでくださいます。やりたいと手を上げながらも、最初は、どんなものなんだろう、こどもたちは楽しめるのだろうかという不安もあるようです。パラなどを知りませんからイメージしにくいでしょうね。それが、実際にやってみると「やってよかった!」と。手前味噌ですが、こどもたちに空を考えるきっかけを提供する、とてもいい事業だと考えています。オーバーに言えば、航空スポーツの明日を担う人たちの育成ですから、いい形で続けていきたいなと思います。JHFの皆さんには毎回ご協力いただいてきましたが、今後もよろしくお願いします。

□小林さんが航空スポーツ室長として航空スポーツ愛好者に望むことは？

空を楽しむうえで私が考える大事なことはふたつありまして、ひとつはお怪我のないようにということ。皆さんで協力して安全に飛んでいただきたいと強く思います。もうひとつは地元の人たちとうまく共生して発展していただきたいということ。航空スポーツは、地元の理解があってはじめて楽しめるものですから。

日本人はあくせく働いてきましたが、今後は時間的余裕を持つようになると思います。自然のなかで飛行を楽しむスポーツ、レジャーというのは、大袈裟ですが、日本を明るくするツールになり得るのではないでし



左：航空スポーツ室の皆さん。小林室長を囲んで、左から北宮さん（スカイレジャージャパン）、天野さん（JHF）、松崎さん（滑空機や模型飛行機）、内山さん（スカイスポーツシンポジウム）、長島さん（鳥人間コンテスト）、長岡さん（スポーティングライセンス）、小川さん（FAI）は残念ながらこの日ご不在だった。（ ）内は主な担当事業・団体。 右：空の日ポスターから。かわいいパラも。



ようか。そんな近未来のために、航空スポーツの各団体に力を合わせていただきたいと思っています。もちろん我々もお手伝いをしていきますが、まだまだ手探りのことも多く、

皆さんから「こんなことを手伝ってほしい」と要望をいただければ助かります。「お役に立ちたい」というマインドだけは十分に持っておりますので、声をかけてください。

## 財団法人日本航空協会

### 【ルーツは帝国飛行協会】

航空協会のルーツは、民間主導による航空振興を活動目的として1913年に創設された帝国飛行協会にある。FAIに加盟し、皇室からの下賜と民間寄付を財源に、軍事以外の航空すべてに関わり進歩に貢献したが、戦争によって大日本飛行協会に改組。1945年の終戦後は航空が全面禁止となり、通信科学振興協会という仮の姿で継続し、1952年の航空再開とともに現在の財団法人日本航空協会として新たにスタートした。

1973年までは朝日・毎日・読売新聞が運営にあっていたが、航空会館の建て替えを機に航空会社に引き継がれた。現在は航空会社から職員出向のサポートを受け、航空会館のテナントと貸会議室の収入を財源に「航空宇宙思想の普及、航空技術の向上を図り、内外航空宇宙団体との緊密な連携のもとに航空宇宙諸般の

進歩発展に寄与すること」を目的として活動している。

### 【選手派遣も図書館も神社も】

航空協会はNACとして、JHFのような航空スポーツ団体を統括し、世界選手権への選手派遣等の活動をしている。日本記録や日本選手権者の認定・管理、書籍出版、講演会・セミナーや絵画コンテスト開催など、民間航空に関するさまざまな活動を行っており、航空会館内には航空図書館も神社(!)もある。

フライヤーのほとんどは航空協会を身近に感じたことはないだろうが、実はいろいろとお世話になっているし、興味深い活動もしている。詳しいことは航空協会ウェブサイト。航空神社(羽田空港に分社がある)の「お守り」入手方法もわかる。

<http://www.aero.or.jp/>

### 南陽市スカイレジャー振興協議会にFAI賞

長年フライトエリアの整備に携わり、女子ハンググライディング世界選手権、ハンググライディング日本選手権をはじめとする競技会の開催など、ハング・パラグライディングの振興に貢献したことが高く評価され、山形県の南陽市スカイレジャー振興協議会が2006年のFAIエア・スポーツ・メダルを受賞しました。



航空会館でFAI賞の伝達を受けた、南陽市スカイレジャー振興協議会の石岡克一協議会長(写真中央)、事務局長の金井誠氏(右)、監事の佐藤信博氏。



Fédération  
Aéronautique  
Internationale

Avenue Mon-Repos 24  
CH-1005 Lausanne  
(Switzerland)  
Tel +41 (0)21 345 10 70  
Fax +41 (0)21 345 10 77  
E-mail: [sec@fai.org](mailto:sec@fai.org)  
Web: [www.fai.org](http://www.fai.org)

詳際は下記を参照:

FAI ニュース: [www.fai.org](http://www.fai.org)

ワールド・エア・ゲームズ 2009:  
[www.worldairgames.org](http://www.worldairgames.org)

通信販売:

<http://shop.fai.org>

FAI 及び日本航空協会 - 共通の使命  
普及振興 - 融合 - 養成  
スポーツ競技の奨励



### FAI について...

- 約2,000,000 各国の組織を通じて、FAI に加盟しているスポーツ人口
- 約14,000 樹立された世界記録
- 約10,000 国際競技会に参加する競技人口
- 1905 FAIの創設された年
- 約1,000 活動しているボランティア
- 100 世界中の加盟組織
- 約20 毎年実施される世界選手権
- 10 FAIが統括している航空スポーツの種類
- 6 ローザンヌ(スイス)にあるFAI本部の職員数
- 1 共通理念:

飛行への情熱

# 「安全」の重みを感じて

JHFは、ハンググライディング・パラグライディングの安全性向上を非常に重要なこととして、事故が起きてしまった場合は、再発防止のために、当事者や担当教員に事故報告をしていただいています。事故の原因を特定することはたいへん難しく、軽々しく推測をすることはできませんが、事故が起きたことを会員の皆さんに伝え注意の喚起を続けてきました。そしてまた、このレポートでも死亡事故件数をお知らせしなければなりません。

2006年度は3件、2007年度は9件の死亡事故が発生しました。内訳は下記のとおり。JHFフライヤー会員ではない方、JHF技能証を持たない方も含みます。

	2006	2007
ハンググライダー	0	2
パラグライダー	2	3
動力付きパラ	1	4

亡くなった方々が受けた痛みや恐怖、家族や仲間の悲しみや無念さを考

えると、フライヤーの誰もが胸がふさがる思いでしょう。しかし、あなたは「自分もいつ事故を起こすかわからない」と、心の底から考えていますか。フライヤー全員に聞くのは不可能ですが、多くは自分が事故に遭うとは思っていないようです。

事故の恐怖を意識しながらフライトするのでは楽しさ半減ですが、状況によっては自分も同様の事故を起こす／巻き込まれる可能性があると考え、そんなときの対処や、危険回避方法を日頃から考えておくことはとても大切です。また、限界ぎりぎりまで飛ぶことをせず、常に自分の技量と経験に即した安全マージンを確保して飛ぶことをお忘れなく。

いつでも「安全」という2文字の重みをしっかり担って、フライトに臨んでください。

もちろん機材の管理もぬかりなく。緊急パラシュートは単なる装備品です。いざというときに役立つかどうか

は、あなた次第。定期的なりバックと開傘シミュレーションを忘れないでください。

## □ウェブ上で事故報告

JHFはこれまでの事故情報をデータベース化し、傾向等を読み取って再発防止に活かすことにしました。そのため、JHFウェブサイト上（安全性委員会のページに入力フォームがある）から事故報告ができるようにしましたので、万一事故が起きてしまったら、ぜひご利用ください（もちろん事故無しが一番）。従来の書類で報告いただく方法でも結構です。間一髪で事故に至らなかったが危なかったというインシデントについても報告をお待ちしています。

データベースの活用ができるようになったら、JHFウェブサイトなどでお知らせしますが、事故当事者のお名前など個人情報は公表しません。ご協力をお願いします。

## CIVL総会から

国際航空連盟（FAI）のCIVL（フランス語で自由飛行委員会の略。国際ハンググライディング&パラグライディング委員会）の総会が毎春開かれ、日本を代表するデレゲートをJHFが推薦し、日本航空協会が派遣しています。2007年、2008年の総会には岡芳樹氏がデレゲートとして出席しました。以下は岡氏の2008年報告の概要です。詳しくはJHFウェブサイト、トピックスのバックナンバーをご覧ください。

2007年総会：2月9日トピックス

2008年総会：2月13日トピックス

### □2008年CIVL総会

2月9日・10日、メキシコManzanilloで開催。24カ国が出席。

決定事項：

1. 第2回パラグライディングアジア選手権を2010年、徳島県美馬市で開催。
2. 第2回パラグライディングアキュラシーヨーロッパ選手権を2010年、トルコのInonuで開催。
3. WAG2009（ワールドエアゲームス）

を2009年6月9日からイタリアのトリノで開催。パラグライディング（PG）、ハンググライディング（HG）ともに、トリノから20kmのAvigliana Lakesが開催地。

- PGアクロ、アキュラシー各20人  
HGアクロ、スピード各10人
4. PGカテゴリー1大会で、主催国は国別ランキング1位の国と同じ人数の選手をエントリーできる。
  5. PGカテゴリー1大会で、国別ランキングに計上する選手の中途棄権に備えリザーブ選手を決められる。
  6. モンテ・クッコでのHG女子クラス1世界選手権では、国別表彰を行う。
  7. HGカテゴリー1大会でスプログ設定を計測し、ピッチ安定が損なわれるようなセッティングの場合、ペナルティを課すことは、とりあえず中止。
  8. WPRSポイントに影響する成立本数をHGのみ変更。
  9. ランキング上位選手が多く参加している大会のWPRSポイントが大きくなりすぎるため、少し修正する。

10. パラPROからストール項目ははずし、フロント潰しの変わりに片翼潰しを導入。また、翼端折しも追加する。
11. PGアキュラシーカテゴリー1大会では、ビデオ撮影が必要となる。
12. PGアキュラシーカテゴリー1大会では、バックプロテクションのあるハーネスが義務付けられる。
13. CIVLによるトラックログ解析、競技ソフト（FS）のベータバージョンをリリース。http://fs.fai.orgでダウンロード可。NETFramework20がインストールされている必要あり。
14. FAIスポーティングライセンスのデータベースが、FAIサーバーに構築され、2009年1月1日から義務化。それ以降は、データベースにデータがないスポーティングライセンスは無効。主催者はデータベースにアクセスし、選手のスポーティングライセンスが有効かどうか確認できる。
15. オープンディスタンス記録に、ベストポジションを使うことが可能に。

# 学生パラ&ハング界を盛り上げるだけでなく

日本学生フライヤー連盟 理事長 近 洋平(弘前大学4年)

フライヤーの皆様、はじめまして。日本学生フライヤー連盟(JSFF)の2008年度理事長に就任しました近洋平です。2006~2007年度に、広報担当としてFLYAIR誌の学連ページ原稿を書いていたので、ご存知の方がいらしたら嬉しいです。

さて、当連盟に所属している全国の大学では現在、パラグライディング&ハンググライディング部員が、新入生の勧誘に日々汗を流しています。入学式を終えてからの数週間が、勧誘に最も大事な期間だからです。

部員が多いほど、その部活動は盛り上がりやすくなります。そして、フライヤーの増加にもつながります。当連盟も新入生勧誘を重視しており、3月に学連役員が集合して話し合った学連総会では、年度末報告と次年度計画発案と共に、勧誘方法や工夫の意見交換を行いました。各大学、勧誘には予想以上に趣向を凝らしており、驚きと感心の連続でした。私の大学も自作プロモーションビデオを紹介し、希望した大学へデータを配布しました。今ごろは新入生に見てもらえているかもしれません。

当連盟は、学生パラ&ハング界を盛り上げるだけでなく、将来のパイロットを増やすことも重要な仕事と考えております。

また昨年度は、中越沖地震の被災地である上越市への独自の募金活動をしたり、鳥取砂丘合宿では砂丘の清掃活動ボランティアをするなど、社会奉仕活動にも力を入れました。

今後もこのような活動を通して、パラ&ハングのことを多くの一般の方々に知っていただけるよう努力していきたいと思います。もちろん大会や合宿を通して学生フライヤーの更なる向上も目指します。

これからも学生フライヤー連盟への応援、ご指導ご鞭撻をよろしく願います。

当連盟へのご連絡は、下記の掲示板からお願いします。学生はもちろん社会人の皆様もお気軽にご連絡ください。

□日本学生フライヤー連盟 掲示板  
<http://bbs4.sekkaku.net/bbs/jsff.html>  
 ウェブサイト <http://jsff.org/>

## 学生連盟 2008年度役員・委員

理事長:	近 洋平	(弘前大4年)
副理事長:	安池 伸夫	(千葉大4年)
	早川 信仁	(大谷大4年)
理事:	鈴木 雄三	(山形大2年)
	中川 嘉一	(長崎大4年)
	小木曾文俊	(立命館大3年)
	小川 拓	(福井県立大3年)
	今西 孝志	(大阪大3年)
	長友	(日大3年)
会計:	中島 有美子	(武蔵工業大3年)
広報:	早川 伸仁	(大谷大4年)
	山同 望	(山形大4年)
	寺腰 友香	(福井県立大3年)
	問屋	(山口大3年)
名簿・ML管理:	熊本 竜太	(九州工大4年)
HGリーグ:	二宮 和也	(鳥取大3年)
	山口 哲矢	(山口大3年)
	小梶 溪太	(横浜国立大3年)
PGリーグ:	今西 孝志	(大阪大3年)
	田中 優作	(福井県立大4年)
	奥山 俊	(室蘭工業大3年)

## 学生連盟 2008年度のスケジュール(予定)

8月	尾神岳スチューデントカップ
8月21日・22日	NASAスチューデントカップ(足尾)
9月	パラフェスタ
9月	ジャム勝合宿(福井)
9月1週目	砂丘合宿(鳥取)
11月後半	新人戦(十分一)
12月	西学
3月	HG学選

## JHFの備品を貸し出します

JHFでは下記備品の貸し出しをしています。ご希望の方は、JHFウェブサイトから貸出依頼書をダウンロードし、必要事項を記入または入力し、FAXかメールに添付して、JHF事務局までお申し込みください。依頼が重なった場合は申し込みの早かったところに優先して貸し出しますので、できるだけ早めにご連絡ください(事務局住所等は次ページを参照)。また、貸出・返却にかかる送料は、ご負担くださるようお願いいたします。

### ■自動体外式除細動器(AED)

2007年度に1台導入。公認大会やイベント主催者に無料で貸し出し。国内の病院外での心停止は、年間2万~3万人とされています。突然に心機能

が失われた場合、心室細動発生から1分毎に救命率が7~10%下がるそうです。こんなときAEDを使って一刻も早く強い電気ショックを与え、心筋のけいれんを除去するのは最も効果的な方法です。

申込条件:消防署や日本赤十字社などのAEDを使った救命法講習会を受講した方がいること。

### ■ボロジメーター

キャノピー等のエア漏れを計測する機械です。2007年度に1台導入。スクール・クラブ等を対象に貸し出し。貸出料は5,000円、貸出期間は2週間以内です。

フライトギアの定期点検は必須。仲間が集まるイベントのときなどにキャノピーのエア漏れチェックをしてはいかがですか。

### ■スカイレジャー航空無線機

スカイスポーツ専用の周波数で使う無線機(465.1875MHz)です。JHF会員を対象に、大会やイベントでの利用のために貸し出し。貸出料は1,000円/1台。貸出料は無線機の修理代や新品の購入費に充てています。約200台ありますが、いくつものイベントが重なると足りなくなることも考えられますのでお申し込みは早めにどうぞ。

申込条件:ご利用者のなかに「第三級陸上特殊無線技士」免許を持つ方がいること。詳しくはJHFウェブサイトのトップページ→[フライヤーサポートデスク]→[無線機貸出について]でもご案内しています。

\*免許を取得するための無線従事者国家試験については、財団法人日本無線協会ウェブサイトにご案内があります。  
<http://www.nichimu.or.jp/>



## JHFからお知らせ

### ■ボランティアを募集しています

JHFでは、助っ人になってくださる皆さんに登録していただき、助けが必要なときに声をかけ、手伝っていただく『ボランティア登録』を始めました。連盟のことを知らないとか、初心者だからとか尻込みせず、気軽にご登録ください。

JHF事務局で作業の場合は、交通費を往復2,000円までお支払い。事務局外の場合はその都度お知らせします。

JHFウェブサイトから登録用紙をダウンロードして必要事項を入力／記入し、JHF事務局にメール（添付）やファクス、郵便などでお送りください。締切りはありません。いつでも大歓迎です。登録用紙に、どんなことが得意か、忘れずにお書きください。

### ■JHF総合保障制度に加入しませんか

2006年7月1日、フライヤーのための傷害保険『JHF総合保障制度』がスタート。2008年7月1日からプランを変更し新しい保険期間が始まります。今回、JHFレポートにパンフレットを同封しました。この機にぜひ加入をご検討ください。なお、ご要望に応じてハンググライダーも対象に入れましたが、パラグライダー並みの金額にすることは、残念ながらできませんでした。

#### ◇JHF総合保障制度の特長

- ・国内・国外を問わず、フライト中を含む日常のさまざまなケガを補償。
- ・他の健康保険・生命保険・共済などに関係なくお支払いします。
- ・口座引落で保険料のお支払いが簡単。

#### ◇こんな時にお支払いします

- ・傷害事故：就業中を含む偶然の事故によりケガをされた場合に、保険金をお支払いします。例えばフライト

中のケガ以外にも、ドライブ中、テニス中、建物からの物の落下、階段で転倒、海外旅行中のケガ等も対象。  
・救援者費用：フライト中に遭難し、遭難救助費用を負担した場合。偶然の事故により生死が確認できない場合または緊急な捜索・救助活動をする状態となった場合等に保険金をお支払いします（但し、警察等の公的機関により確認された場合に限るので注意が必要）。

### ■スクール用の保険

フライヤーに対する補償のため、スクールが加入する損害保険について、現在保険会社と検討中です。スクール事業を営む方々のニーズに合うならと考えていますので、ご意見ご希望を事務局までお知らせください。

### ■無保険飛行を防止！会費口座振替

2007年5月より、フライヤー会費の口座振替を始めました。口座振替にすると、うっかり更新忘れによる無保険飛行を防止できます。郵便局やコンビニに払い込みに行かずに済み、しかも年会費3,500円が3,300円に割引になり、振込手数料もかかりません。いいことづくめの口座振替への切り替えをぜひお考えください。

フライヤー会員登録更新のお知らせに、口座振替のご案内と申込用紙を同封していますので、ぜひご確認を。

なお、更新時期ではない方も予め申し込みいただけます。ご希望の方はJHF事務局までご連絡ください。

### ■JHF技能証のデザインを一新

2007年5月、JHF技能証のデザインを一新。事務局の経費を抑えるために、練習生、パイロット、教員、すべて同じデザインにしました。以前の技能証カードから新カードへの切り替えをご希望の方は、スクール・クラブに置いてある「技能証申請書」に必要事項を記入して、再発行の申請をしてください。申請料は1,000円です。

### ■JHF通常総会を傍聴希望の方へ

6月18日（水）11:00～17:00、東京都南部労政会館第5・6会議室で通常総会を開催します。傍聴ご希望の方は5

月31日までにJHF事務局へお申し込みください。会場案内等はJHFウェブサイトのトピックスで。申込書もダウンロードできますのでご覧ください。

### ■JHFロゴ公募作品から決定

2005年の名称変更（ハンググライディング連盟からハング・パラグライディング連盟に）を機に、ロゴのデザインを公募。29点の応募作品のなかから森山政男さんのデザインをJHFの新しいロゴとして決定しました。



### ■PG教本改訂版近日発行

長い準備期間を経て、もうすぐパラグライディング教本改訂版ができます。A4 1冊に練習に必要なことをまとめました。頒布価格や入手方法等はJHFウェブサイトでお知らせします。

### ■事務局からお願い

#### ◇住所変更をお知らせください

住所を変更したら、できるだけ早くJHF事務局宛にメールやFAX等でご連絡ください。大切なお知らせが届かず戻ってきても、事務局には再送付する手立てがありません。

#### ◇会員登録有効期限は？

技能証申請の際にも、フライヤー会員登録が有効であることをしっかり確認のうえ申請をお願いします。

### お問合せ・ご連絡は

(社) 日本ハング・パラグライディング連盟  
〒170-0002

東京都豊島区巣鴨 3-39-4  
東都ビル 2階

TEL.03-5961-1388 FAX.03-5961-1389  
info@jhfhangpara.or.jp

http://jhfhangpara.or.jp/

\*2008年8月13日～18日は夏季休暇のため事務局業務を休みます。申請等はお早めをお願いします。

### JHFレポート 189号

発行日：2008年5月20日

発行：社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟 (JHF)

編集：JHF事務局

印刷：日本印刷株式会社

### 訃報

4月24日、愛媛県ハンググライディング連盟の理事長、門田要氏が亡くなりました。

門田氏は県連活動はもとよりパラグライディングアジア選手権開催に向けて精力的に活躍されました。ご逝去を悼み、心からご冥福をお祈りします。